

【金武町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

- ・ Society5.0 時代の到来など児童生徒を取り巻く環境が大きく変化する中で、各教科等の指導を通して「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で整理された資質・能力をバランスよく育成し全ての児童生徒の可能性を引き出すために、ICT 環境を活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現による教育の質の向上を図る。
- ・ 整備した ICT 環境を活用し質の高い学習活動を実施できる教師の指導力を向上させることで児童生徒に対してより良い教育的効果をもたらす。
- ・ 義務教育9年間を見通しつつ、学習履歴（スタディ・ログ）の蓄積・分析・利活用をはじめ、1人1台端末の効果的な活用等による児童生徒一人一人の特性・学習定着度等に応じたきめ細かな指導をめざす。

2. GIGA 第1期の総括

- ・ 通信環境が不十分であったが、令和4年度に改善に向けた整備を行った。
- ・ 家庭における学びの機会を保证するため、モバイルルーター及び LTE 内蔵の学習用パソコンの貸し出しを行った。
- ・ 1人1台端末を家庭で利用できるよう持ち帰りを推奨し実践した。
- ・ 故障時の代替機が十分に用意されていない。

3. 1人1台端末の利活用方策

- ・ 端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持する。
- ・ 端末の持ち帰りを引き続き実践し、端末のさらなる利活用を図る。
- ・ 「心の健康観察」に関して、1人1台端末で記録ツールやアンケートツールを活用することで、児童生徒の心身の状況を適宜把握し教育支援を適切に実施する。
- ・ 電子黒板などその他の電子機器と連携し活用することで、端末の機能を最大限に活かす学習を推進する。